

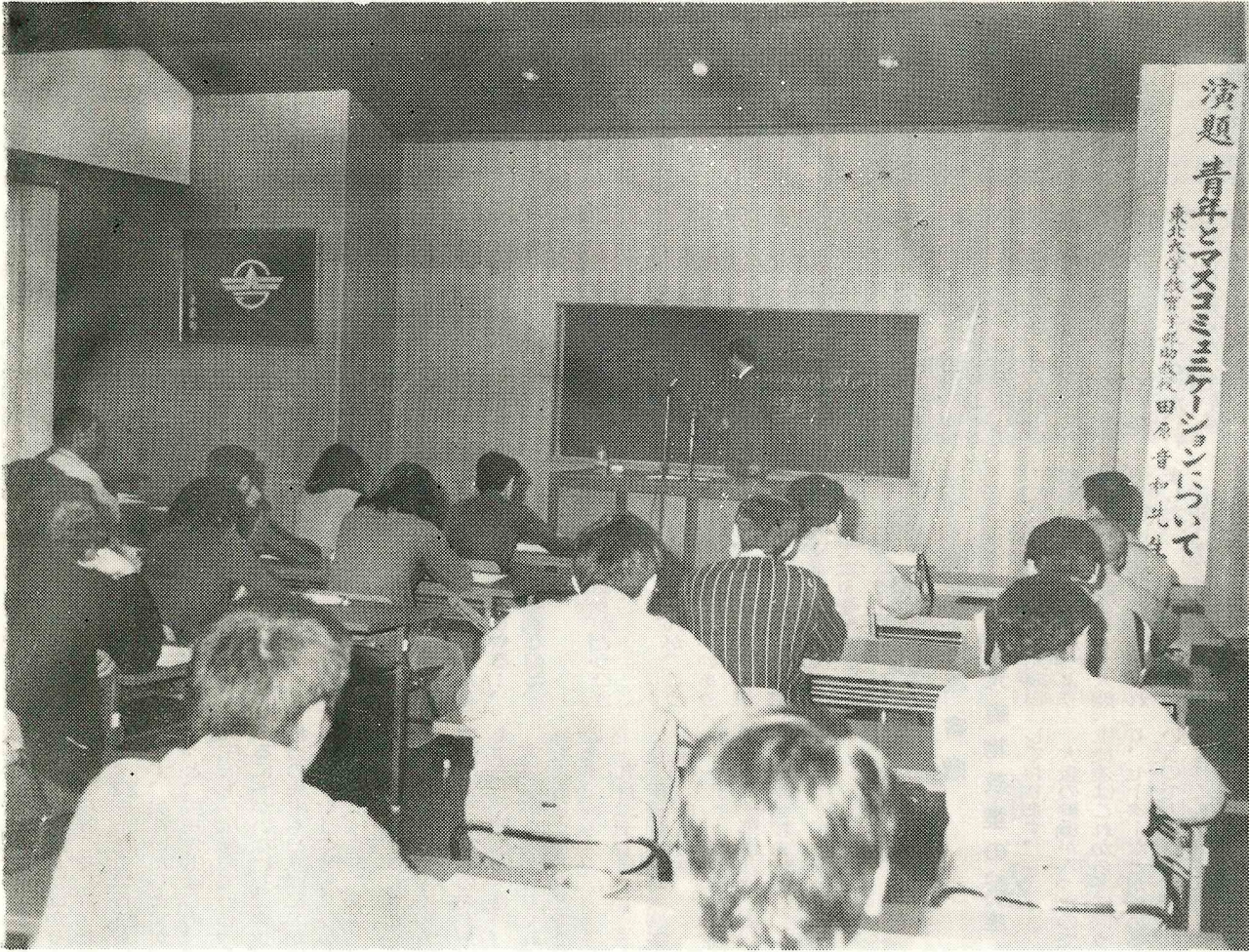
館報

おおくま

主な内容紹介

- 2面—旅行での親切。落書きとブドウ
- 3面—安全教育。学校での疾病。
- 4面—先生紹介。学校防火。さん。
- 5面—あなたはどこのお母さん。
- 6面—学級講座紹介その他。
- 7面—小さくて大きなもの。俳句。
- 8面—町民の願い。

発行編集 大熊町公民館
印刷所 平加納活版所



研修

教養が、人生をより豊かにし、人の一生をより充実したものにする。

まして、急激に変ぼうする現代社会に生きるためには、生涯を通じての研修が要求される。

ある人は教育をとりまく現代社会環境の八つの柱として、次の点をあげている。

- 1 高所得化社会である
- 2 高技術化システム化の社会である
- 3 情報化社会
—人間疎外—
—児童、生徒にしても父兄や先生だけでなくあらゆる場所と機会に多様な情報の中にある—
- 4 国際化社会
—昭和六十年には、一千万人の日本人が海外視察に出ると予想される—
- 5 高進学化社会
- 6 レジャー社会の問題
- 7 多元的な価値観の問題
—昭和五十年には、昭和生まれの人々が国民の七七・六〇となる—
- 8 都市化社会の問題
写真は東北大学教育学部助教田原音和先生から「青年とマスコミュニケーション」について研修する青年学級生及び青年会員。
(十一月十六日、午後七時～九時)

勉強の奥にあるもの

大熊中生徒旅先での親切

—お礼の手紙から—

前略 ごめん下さい。
とても嬉しいままに、ペン
をとらせていただきました。

私本日、磐越東線上り小川
郷駅三時五十分発の列車で赤
井駅まで参りましたが、私の
乗った車輦に、御校の女生徒
さんが四人乗り合わせて腰を
掛けておられました。

一つだけ空いている席をみ
つけて、妻に腰をかせせま
したところ、それを見ていた
御校の生徒さん四人のうち手

○落書き

最近はずいぶんの落書きも少
なくなり、まして大人がそん
なことをするとは思ってもし
なかつた。

落書きとブドウ

=子どもに見習え=



なことをするとは思ってもし
なかつた。

あろうに公民館の表玄関の柱
(写真は表玄関の落書き)

に落書きをしたものがある。
ある結婚式のお客の酔興で
あろうが困ったものだ。「子

ブドウの木が何者かに盗まれ
てしまった。

○ブドウ盗まれる

旧公民館の玄関横にあった
ブドウの木が何者かに盗まれ
てしまった。

このブドウは昭和三十五年
二月十九日に、大熊町青年学
級生として始めて県の国内研
修のため静岡・山梨方面に派
遣された関本好一さんが山梨
より当時の新種を記念のため
に持参した由緒あるもので秋
には実るようになっていた。
それを知ってかどうか、い
つまにかなくなっている。
誠に残念なことである。

いる。」と。
音楽も美術も、それは人の
心を美しく、やさしく、そし
てはげしくするために学ぶも
のでしよう。

みなさんは、やさしく美し
い気持を、老人をいたわる
心を、はげしい勇気の心で
実行して下さいました。

よいことを実行するにはい
つもはげしい勇気と決断が必
要です。だから私は、大熊中
の合唱クラブは勉強の奥にあ
る一番大事なものを、しかと
身につけていらっしやる、
これが一番の優勝旗なのだ、
と思ったのです。

ほんとうにありがとうございます。
クラブ員の皆さんが、こう
した心の持ち主にならなけれ
ば、いや、大熊中の生
徒さん全体が、こうしたやさ
しく美しい心の持ち主のよう
に思われてなりません。

九月二十七日
伊達郡保原町大柳字大
日向七四
佐藤善右工門
郵便九六〇一〇六
大熊中学校長先生
呈下
原文のまま

編機 50 台

大熊中へ寄贈

佐光編物教室の配慮

この程、大熊町の佐光編物
教室(佐光美奈子さん)より
学校教育の一助として、大熊
中学校に編機50台が寄贈され
ました。

早速が台ずつ、両分室に分
けて手芸クラブの時間に利用
した。教育委員会

旅に拾う

|| 自然と人生を
老えよう ||

○計画不在の開発

宿の窓から降りしきる雪を見
ていると、係員が二人寝具を
持って入って来た。

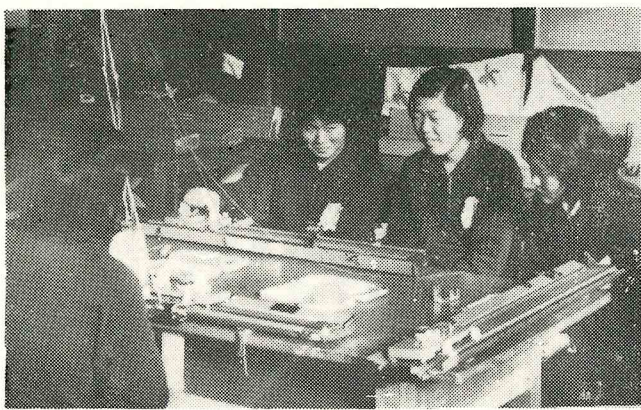
「よく降るなあ」

「もう八回目ですよ。でもこ
の位降らないと夏になってま
た水不足で大騒ぎになります
よ」

もう一人が続いて、「何し
るこの附近一帯は森林だった
んですよ、それがこんなに目
えたよ」

寄贈の編機で学習する生徒たち

=大熊中熊町分室=



熊小子ども銀行

県表彰を受ける

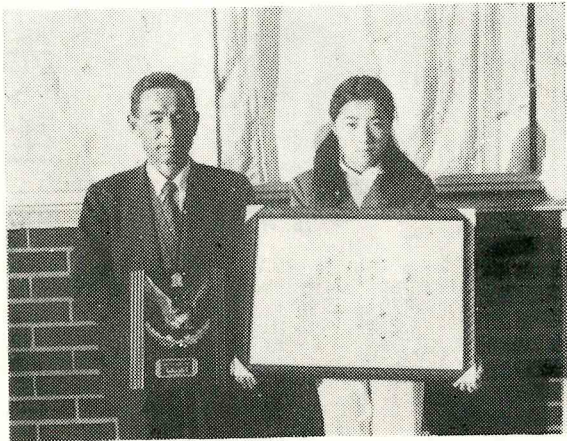
去る十一月二十二日福島市約し、計画的な貯蓄をし、日銀福島支店において、熊小 有効貯金を生活に役立てる子供銀行(校長 青田真男)が「優良子ども銀行」として県知事及び県貯蓄推進委員会長より表彰を受けた。熊小は農協貯金であるので、石田組合長も同行し、県信連からもお祝いを受けた。これからもただ貯蓄だけでなく、また富岡警察署の昭和四十八年度交通安全生活を送るだけ度交通安全係定期表彰で、優良だけでなく、真の貯蓄の意義を学校として大野分室、優良団体し、元費は出来るだけ節

大野分室は交通安全優良校

大野小PTAも

団体表彰に輝く

去る十月二十六日に行われ、いまや、交通事故皆無の願いは、全国的なものであり、当局をはじめ各機関や団体が日ごろ防止対策に万全を期しているところであり、今回の受賞は町民各位の陰に陽にのご協力の賜と、受賞を喜ぶと共に感謝の意を表わす次第です。これを契機に、さらに交通安全徹底のため、全町民こぞって最善の努力をしていただきたいと思ひます。



表彰状を手にする熊小校長と生徒代表

と共に、社会の福祉に貢献できよう、励まなければならぬと思ひます。ご協力くださった皆様に感謝し、一層貯蓄の真意を発揮できるよう努めると共に、健全な子供の生活指導をはかりたいと思ひます。

児童生徒の疾病はむし歯が圧倒的

〇調査対象

熊町小学校、大野小学校、大熊中学校の児童、生徒、昭和四十七年度計、一四六名

昭和四十八年度計、一〇八一

〇疾病異常の考察
グラフを見て明白のとおり各学校とも被患率の最も高いのはむし歯で、続いてトラホーム、ちくちくの症であり、これらはいずれも昨年度より伸びている傾向にある。

〇疾病と称されている主な疾病について、学校医のお話しを参考に考えてみました。

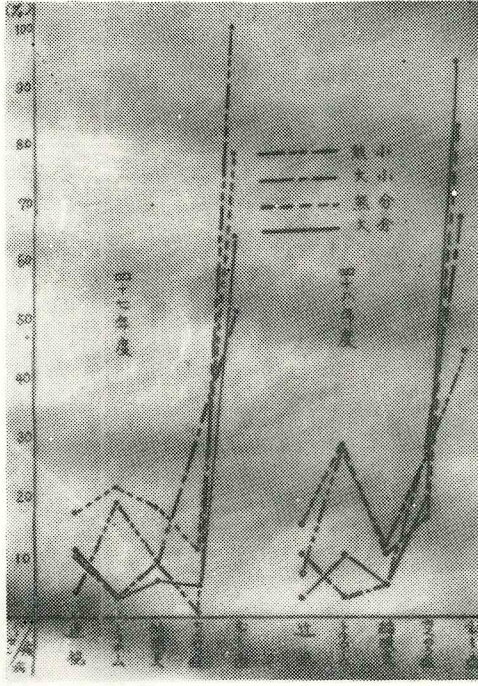
これら疾病の他に、常に家庭共々注意していなければならぬことに、登校・下校時等に起こる事故があります。自転車転倒し、手・足・肩などの骨折、体育の時間中ボールにあたり、転倒し顔面の裂傷や手足の捻挫、など災害はいつも私たちから切り離しては考えられません。

疾病や災害についての注意や指導は学校では勿論、各家庭においても、従来どおり今後も充分考慮してゆかなければならない問題だと思ひます。

トラホーム、結膜炎について見ると、児童の結膜炎は大人からの感染であり、幼児期に発生したものがほとんど

本校は教育環境にめぐまれ、また地域の方々のご協力により、教育活動全般に効力を高めていることを感謝するとともに、今後ともよろしくご指導をお願いいたします。

大野小学校



大熊町の児童生徒疾病状況

安全教育について

大野小学校

本校は教育環境にめぐまれ、また地域の方々のご協力により、教育活動全般に効力を高めていることを感謝するとともに、今後ともよろしくご指導をお願いいたします。

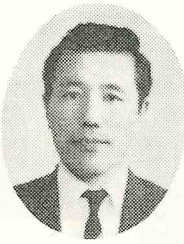
二、その他の安全教育対策
(一) 授業中における児童の事故防止については次のような対策を立てています。
・毎月、一日に校舎内外の安全点検を実施し、危険箇所の除去につとめる。
・危険を伴う授業例えは理科における薬品の取り扱い、図工における彫刻刀等の使い方、体育の授業時の事故等を除くため、安全に関する、基本的事項の指導を徹底する。
・不慮の災害時に備え、年二回避難訓練を行う。
(二) 校外における事故防止についてはPTAの協力を得、危険箇所の調査を実施している。

以上のように、子どもたちを事故から守るため、いろいろな対策を考えていますが、交通安全は登下校時に発生することが多く、地域の方々のご協力を得ないと万全を期し難いので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

先生紹介

私の心境

大野小 山崎公三



冬枯れの木の
春の陽光を待ちわびるのは
肌さす風に耐えるのは
茜え出る日々の身仕度
できているからだ
ということ

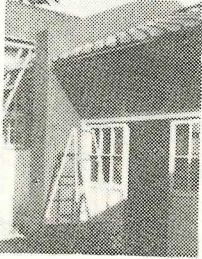
めまぐるしく移りかわる世
の中で、次代をになう子ども
たちの教育を、どのようにす
すめ深めていったらよいので
あるうか。この教育職に課せ
られた問題解決の心境をつぎ
の詩にたくししたいと思います
子どもたちに知らせたい。

冬枯れの木に
若芽のふきつつある事実を
知らせたい
春の芽の育っている事実を
つかませたい

学校防火態勢について

今年の特にきびしい冬が予
想されますので、学校暖房の
日も多くなろうと思えます。
新たに大野小学校に防火

壁を取り付けました。学校
火災については充分に心が
けていますが、万一失火の
場合は各学校備付けのサイ
レンをならしますので、近
隣の人々は直ちに馳せ参じ



て消火にご協力下さるよう、
おねがいします。
(大小の完成した防火壁

(順不同)

自然の理にしたがって
大きく息づいている事実を
おどろきをもって
子どもたちに知らせたい

より高い 目標に向つて

大野小 永山 勇



高台の閑静な校舎に、秋の
日射しが、松の間の紅葉を一
層美しく照らし、芝生に遊ぶ
元気な子ども達の幸福な姿。
またPTAの、献身的な奉仕
作業による 校庭も、美しい
学園と変わりつつあります。こ
の恵まれた環境で勉強できる
子ども達を、他校の人々は、
さぞ羨ましく思うことではし
ょう。

美しい学園にて

熊町小 山内フサ子



六年生を担任し、教科は理
科主任、視聴覚主任など担当
研究にはげんでおります。
毎日素直な明るい子どもた
ちに接し、常に思うことは、
「より高い目標に向かい希望
をもって進もう」ということ
で、子どもたちにこのことを
願いながら指導にあたってお
ります。

子ども達と一緒に

熊町小 富塚 通夫

熊町小学校に赴任して四年
目になり、三、四、六学年を
担任し、現在四年生を受けも
つており、教科は理科を担当
し研究にはげんでおります。
毎日三十六名の元気あふれる
児童を相手に、楽しく過して
おります。

教育機器を使つての 新しい教育を

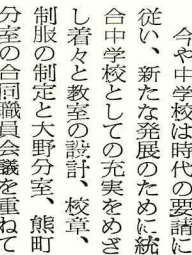
大野分室 志賀成子



前通りチョークと黒板を使っ
ての授業しかできず、とても
残念です。統合中学校には最
新式の教育機器を設置し、原
子力の町にふさわしい教育が
できるようにしたいものです。

統合中に夢を抱き

熊町分室 江又トミ



の記事を見かけるが、およそ
私達からは縁遠いことです。
裏面には「朝気がない、意欲
がない」等の声も聞かれよう
が少年期の学校生活はこれで
いいのだと私は自負していま
す。

教育の最大の目標は人間形
成にあることを思えば、やが
て社会人として立派に活躍で
きるよう、生徒のひとりひと
りの持ち味や個性の伸長の引
き出し役や支えになるのが教
師の使命であることを自覚す
る次第。従って生徒を取りま
く環境、施設等は出来るだけ
配慮して、更にすくすくと成
長させたいと望んで止まない

今や中学校は時代の要請に
従い、新たな発展のために統
合中学校としての充実をめざ
し着々と教室の設計、校章、
制服の制定と大野分室、熊町
分室の合同職員会議を重ねて
いるこの頃です。生徒達も現
在の名目統合から五十年度の
実質統合を待ち望みながら勉
学に運動に励んでいることが
時折の会話にうかがわれてほ
ほ笑ましい。一抹の不安も



お母さまがたへ お願い

お願い

統合中学誕生の意義も行政
管理面だけでないことを思う
時、関係当局の推進に感謝の
念をいっぱいです。豊かな環
境で根を下した樹木は、のび
のびと根をはり、やがては美
しい花と実を結び、嵐にも負
けないという。

緑の校庭、恵まれた自然環
境の中で、子ども達と勉学で
きるのを、たいへん嬉しく思



一人の人間の考えることや
行いなど社会の大きな流れの
中ではどうにもならないもの
がある。流れを止めることな
ど到底できるものではない。
近年あらゆる面で機械化が
叫ばれ教育機器を使つての授
業が普及し、中教研の部会でも
研究協議の中心になり、中
通り地方では教育機器を使つ
ての教育の研究が非常に盛ん
であるとか、アナライザーを
使用するとき通過率ほどの程
度にするか、解答を準備する
のに骨が折れるとか、どの教
材は使つた方がよいとか、い
ろいろな問題点が出されたが、
本校ではOHPだけなので従

なく、毎日を喜々として未来
はすべて自分のためにあるか
のような振舞いには苦笑を禁
じ得ない。実に熊町の生徒の
多くは、のびのびと心豊かな
自然児です。素直さとおおら
かさの持ち合わせは何よりも
貴重なるものではあるまいか
よく新聞等で非行や悪犯少年

本年より、幼稚園児をスク
ールバスにより、送り迎えを
いたしておりますが、自動車
が増えており、お子さまがた
を交通事故から守るため登校
時、下校時には、定められた
停車場まで送り迎えを必ずお
願いたします。

あなたは どんなお母さん?

子供が母親から受ける影響は非常に多いと言われています。

④ 子供を理解する
お母さん
(子供の心の内側に入って、立派な人間をつくり上げるための次の十ヶ条にあなたはいくつの自信を持っていますか。)

⑤ 子供を認める
お母さん
(子供は平均的に育つものではない。子供同志の長所の違いに気づき、それを認めることができるか。)

⑥ しっかり上手な
お母さん
(ここまでは許すが、ここからは断固許さないという強い一線が母親自身の中にあるか。)

⑦ 公平なお母さん
お母さん
(子供たちに差別感を感じさせない配慮ができるか。)

⑧ 子供の友達を大切に
するお母さん
(友達を批判する前に、なぜ自分の子供はあの友達を選んだのか考えてみるか。)

⑨ 子供とともに伸び
てゆくお母さん
(ほくに勉強しろというが、お母さん自身もしていないといわれたことはないか。)

⑩ 夫婦仲の良い
お母さん
(子供は両親をよくみている。両親の仲がよければ精神的に安定し、心も豊かに育つ。)

「都立教育研究所主任指導主事 渡辺静子さんの児童健全育成講座から」

老人ホーム訪問
十一月二十八日、大熊町民謡研究会(会長斉藤セツ子)大熊町郷土芸能振興会(会長半谷重一氏)共催で、富岡町の老人ホームを訪問した。これは毎年行われている行事であるが、思えない老人の方々に非常に喜ばれている。

県婦人学級生大会 盛会に終了する

昭和四十八年度福島県婦人学級生大会並びに婦人教育問題研究会が、去る十一月二十八日、二十九日の二日間、双葉町において開催され、大熊町からは木幡キサさん他四名(県内から五二六名)が参加した。また集団学習にはVTR(ビデオテープレコーダー)の利用など、テレビを見ることが学習方法、特に放送利用学習を中心として発表交歓を行なう方面する諸問題について研究協議が行われた。学習の主な要点的通り。

テレビを見るのに単に面白くという見方に止まらず、健康管理はどの番組で、料理はどの番組で、消費物価の問題は二ニュースでというふうに、その目的や情報をよく整理し

安定し、心も豊かに育つ。)

「都立教育研究所主任指導主事 渡辺静子さんの児童健全育成講座から」

老人ホーム訪問
十一月二十八日、大熊町民謡研究会(会長斉藤セツ子)大熊町郷土芸能振興会(会長半谷重一氏)共催で、富岡町の老人ホームを訪問した。これは毎年行われている行事であるが、思えない老人の方々に非常に喜ばれている。

家庭でのまぢまぢの見方を話し合いにより、正しくまとめてゆく、オビニオンリーダー(世論指導者)の役割を、主婦は果たさなければならぬ。また集団学習にはVTR(ビデオテープレコーダー)の利用など、テレビを見ることが学習方法、特に放送利用学習を中心として発表交歓を行なう方面する諸問題について研究協議が行われた。学習の主な要点的通り。

なお、席上「主婦業と学ぶこと」について放送評論家、吉武輝子さんより次のような講演があった。

かっつての主婦は、七つの機能(一、生む 二、育てる 三、社会適応化 四、教育 五、家族の健康管理 六、生産 七、愛情)により生活が

管まれていた。しかし現在では手がはぶけ最後の七番目の機能だけが大切に残されている。それは、家庭は人間性を回復する場でも、しかもだれにも気がねのいらぬ、安心して暮らせる場であり、また社会が複雑になればなるほど孤独になるのをいやす場でもあり、家庭の主婦の役目となっている。という講演であり盛会裡に終了した。

ふるさとづくり事業」が具指定のもとに細部計画立案中でありましたが、事業の概要がまとまり、この程開講しました。

この事業は次代を担う青少年の手で、忘れられようとしている、地域の伝統文化を守り、さらに自然破壊や環境汚染を防止し、住みよいふるさとをつくらうというものであり、青年代表十一名、学識経験者五名、行政機関四名の計二十名で構成されており、今後現地研修や推進会議、交歓討議等により積極的に推進するものであります。

ふるさとづくり
事業開講する
豊かで住みよい郷土づくりを旨とする「若者による新しい



町民体育館の地鎮祭

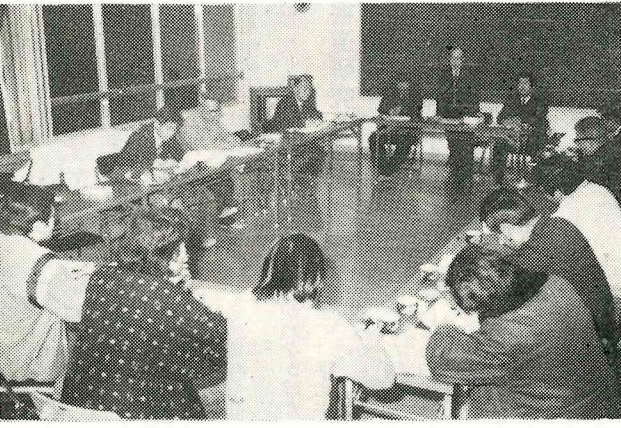
町民体育館着工

大熊町民待望の町民体育館が、この程大熊町大沢字中央台八七三番地内に着工した。

敷地面積 七七、〇〇〇㎡
建物面積 一、〇六五㎡
総工費 八、四〇〇万円
請負者 原建設株式会社 (富岡町)

高令者大学

十月三十日、学生四十五名役場のマイクロボスにつて浪江町泉田川の鮭漁の実況を見学した。天候にも恵まれ今年にはサケの豊漁とあつて活況を呈していた。又見学者も多く、申込みのない人は座席もとれない有様であった。帰りは請戸浜の漁港とセリ市を見学した。これもサケがたくさん水揚げされていたが、ねだんも高く庶民には高嶺の花の感があった。



熱心に討議するふるさとづくり参加者

熱心に討議するふるさとづくり参加者

P T A 功 労 者

渡部悟氏に感謝状



渡辺氏は、昭和四十二年から六年間大小PTA会長をつとめ、さらに現在は大熊中PTA会長、県PTA連絡協議会副会長、双葉郡小中校PTA連合会長等を歴任しており、常にPTAを母体とする広い視野のもとに人間愛のもてる青少年の育成にとりくんでおり、その功績が高く評価され、席上渡部悟氏がPTA功労者として全国協議会長より感謝状を増呈された。

「今回の受賞は、町民各位の絶大なるご支援とご協力の賜ものであり、深く感謝いたしますと共に、私の終生忘れられません。このできない光栄でありま

す。 今後はこの感激を胸にひめさらにPTAや自治体を通じて子ども達の幸福のために一生懸命微力を尽す所存でございますので、皆様方のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。」



慶応二年(一〇七年前)下川内の佐久間義隣という人が「一夜雑談」という本を書いているので、その中にあるお話を紹介します。

安永(二〇〇年前)までは竹扱きやからはしで稲を扱いたが、安永以後伯耆国(島根県)から稲扱きという道具が入って稲の始末がよくなった(これは千枚函という稲扱きで、古い農家には保存されている)と思う。

安永以前までの稲扱きは、「からはし」という竹を割っ

奥野文部大臣初め各閣僚多数が出席され、激励の言葉が贈られました。

渡部悟氏は受賞の喜びを次のように話しています。

婦人学級に 参加して

東電社宅 竹並 静子

今年度の婦人学級は主に郷土の歴史についての学習であるが、その他料理講習あり、民謡教室ありで、私にとって興味のない内容ばかりである。特に郷土の歴史については現地学習が多く、清戸追の横穴古墳や平の城跡を訪ね歩くなど、大昔の生活や社会に直接触れたような感じ

るが、自分も行っている。このため一番草もとらず、麦の刈り取りも出来ず、飯炊きも下女に任せている有様である。また百姓の大切な小麦さえ刈り取らず鳥にくわれ、大豆も小豆も草の中で見えなくなっている。

このようにたのしく学習のできる学級に多くの人が集うことができればと願っています

私の職場

青年学級生 M 子

開催なども計画しております。入会等詳細は大熊町公民館にお尋ね下さい。

書道研究会の概況

大公書道研究会は、現在会員二十六名(年令十八才以上)で、井戸川碧水先生の指導のもとに、毎週金曜日午後六時から大熊町公民館において熱心に勉強しており、徐々に練習の成果が現われてきております。



書道の練習に精を出す会員

青年学級だより

青年学級今年最後の行事として、十二月二十三日(日)午後五時三十分より大熊町公民館において、「パーティー料理の理論と実際について」の学習会を開催します。全員参加するよう希望いたします。

クリスマスの集い

暁スポーツ少年団員によるクリスマスの集いが公民館において行われる。お祝い、和合反省と、ほくたちの楽しい集いにしよう。手作りのサンドイッチャやフォークダンス、コーラスで花を咲かせ、一年間の反省へとすゝむ意義あるこの集いに。 一団員

みんなのひろば

公民館利用について

公民館館を使用する場合
は予め申込みから通
知を出して下さい。です
開館時間は、次通りです
午前部 8時～11時まで
午後部 1時～5時まで
夜間の部 5時～9時まで

小さくて大きなもの

富岡町の町会議員である矢内キクさん(夜の森在住)は十月に東南アジア諸国の視察に行かれたが、帰宅後学校に来られるいろいろなお話を聞くことができた。

議員としてその土地の産業経済や政治民情の視察が主であったそうだが、文教厚生委員という立場から、特に学校教育、社会教育にも関心を持ち視察されたそうだった。

あちらの学校といつても、日本のような立派な建物は全くみられず、ほんとうにみすけらしい建物であり、設備なども悪く、あばら屋のようなところで勉強しているということで、日本の子どもの幸せというものを強く感じたそうだった。

持参したあちらの子どもの描いた図画も見せてもらったが、真剣に画いたあとが読み

折も折、運動帽、スックが

校庭に落ちていた。なくした人は取りにくるよう放送があったが、とうとう落し主はあらわれなかった。そればかりでなく衣服でも、学用品でも落してさがるそとしないと。金さえだせば、何でも揃う世の中だが、いつかゆきづまる。その前に学校と家庭とが力をあわせ、物の尊さをしっかり知らせてやらねばと考えている。

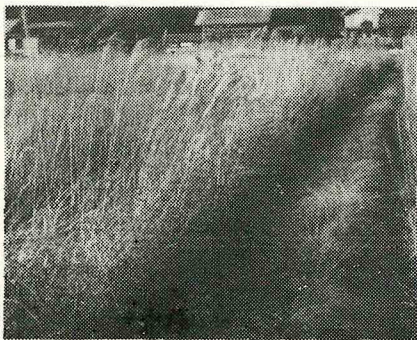
ともあれ、われわれが気づかずにいた教育の問題を提供してくれた矢内さんに感謝している。

大川原 志賀隆文

雑草から

何時かは煙が!

減反、機械化、賃作業、これら政策はこの町を雑草化させている。町の中にも雑草は自然を築きながら生きているかのようだ。そろそろ火災期に突入する



草原と化した休耕地

枯れた雑草は火災のためにあるということは、過去の事実が物語っている。火の用心は勿論大切なことであるが、燃えやすい物の片付けも大切なことではないだろうか。

小さな挑戦

毎日の物価高に驚きと溜息の連続です。高くなる声と共に買溜をする人が多くなり余裕のない人には出来ない。砂糖もペーパーもなくなるわけ

ないだろうか。美観をそこなう雑草成育者よ、速かに始末を。火災になればあなたにも責任があることを忘れずに。

町を思う一人

雑感

人間は誰もが自分のしてきたこと、やっていることには大いにくわしく、自信もっているが、さて他のこととなると目かくしされた人と同じである。習ったり教えられてはじめてその仕事の苦労がわかる。

先日、大工さんや左官さんが家に来られその仕事ぶりをみせていただいた。今まで全然このような作業を直接見たこともなかった。やること全部が目新しく興味があった。またこんなにも苦労があり手がかるものかと頭が下がった。そしていろいろ話を聞いていくうち、「左官なんかやっているのは同級生でおれ一人なんだ。」などどこちよっぱり不満げでもあった。でもその時私は言った。「こんな尊い仕事はないでしょう。一生身につけている技術は、定年を過ぎてでも生かされるし、ますます建築はさかんになっていくでしょう。」

俳句

犬小屋はるすなり落葉降るまゝに
ストつゞく野の駅すでに冬ざるゝ
初なりの袖をかぞえて母の忌にかたぶける寺の厨に銀杏散る
ためらえばストの師走の遠くして
梅もどき紅くたわみて庭の明け
靱摺りや新湯の濁る夜寒し
七五三日溜り困いし社務所かな
寄鍋に弟帰る便りあり
大霜の朝餉の飯の湯気白く
霜月も末となりけり木の葉降る
増築の家と顔撮る冬日中
あますなき冬日ためいて木のかおり
松手入れ庭師についておちば掃く
再会の涙が先きに柿をむく
月光に色ほそめけり菊よとりどり
熟れ柿を尾長が占めて動かざる
亡祖母の記憶やまぎと柿の頃
鶉砂浴梨黄葉のあかるさに
若者の藪積む頭上鳥渡る

志賀セツ
佐久間 信子

大熊町の一住民

高野 昭二

中山 貞平

稲作について

一反十俵は夢でなくなつた

今年は天候に恵まれたことだが、今年に相当の人が目標と、割合に水にも恵まれた関に達している。

係で、予想された通り史上第二の豊作であった。私たちが農二の農作であった。私たちが農二の農作であった。私たちが農二の農作であった。

病害虫の予防、生育期の稲の特質、うまい米づくり等、あらゆる方面の研究は勿論、タ

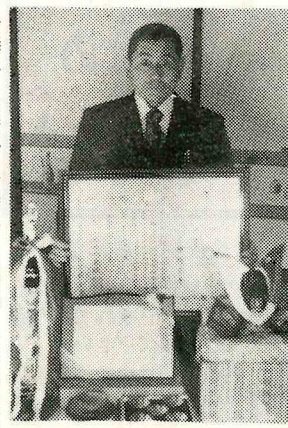
ンポに出たの実際的な対処法等を研究してきた。十俵の目標はすぐ近くまでできていたが、これらの人たちが、か

中々達することができなかつた。つては夢であった反当十俵の

神場乙平氏

農林大臣賞に輝く

この程大熊町夫沢の神場乙平氏は養蚕経営(大規模十二回農業祭参加の東北地



表彰状を手にした神場乙平氏

壁を破って更にその上の目標にせまっています。

農研会は昭和四十三年発足会員六十名、アスパラの研究をしていく人もある。

道路の障害物に思う

(農研会員)

朝の出動途中、道路に大きな木の丸太がころがっていた。自動車にも障害になるし、自転車の通行にも邪魔になる。片づけようと思つたが、出勤時間もせまっています。

熊二区銀座に舗装道路を

(一人)

大熊町の道路は他町村より良いと聞か、熊二区の銀座通りは、いつ舗装されるのだろうか。近頃は東電の鉄塔工事をしているので、大型ダンプが物凄く音で走り、その後は埃が煙の様に立ちこめて前は見えない。いつかは良くなる事と思つていますが、一年でも半年でも早く舗装されるようお願いいたします。私ばかりでなく、この道を通つた人ならばだれしも思うことでしょう。(一人の通行人)

水を豊富に

先日、水道料を集めに来ら

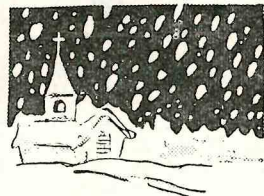
れた隣人に「いやはやこんなに出の悪い水道では水道料も半分ですよ。と文句を言われ来た。お宅の水の出はどうですか。」と問われた。実は全くその通りで、地盤の高いこの辺では夕方の炊事のころになると本当に水の出が悪く急ぎには間に合わぬ状態である。どこか一箇所出している。と他はちよろちよろなのである。今年の夏あたりは渇水のためなのか、時間に制限なく出なくなり困つたことが幾度かあった。そのためこりてバケツ等に汲んでおくのが常だった。

こんなには水の出が悪いのは私達には、原因はわからないが、おおよそこんなためかなどと困りはてて話し合っている。

ダムも出来て田畑の水には大なる恩恵がありよるこんでいるが、水の出の悪いのには日常生活に特に必要な水だけに何とかならぬものかと考えている。どうぞもっとよく出る水道にしたいだきたい(大川原の一人)

青葉公園誕生

六号国道の熊川橋から約百メートル西側に青葉公園が造られた。これは青田三郎氏が自費で造成されたもので、面積約三九〇〇㎡で四方の眺めはすばら



交通事故を考えて

一 中学生

先日、私は自転車と自動車との交通事故をまのあたりに見、あまりにも残酷な風景を今だに忘れることができませぬ。三角屋より駅前に通じる県道に、一日も早く追越禁止と速度制限の表示を設けてくれるようお願いいたします。年々減ることもなく返えされている事故を町当局も知っておられることと思います。そのような道路を私たちがいつも恐怖をいだき通学してしまつておられます。一日も早く、歩行者も自転車も安全に通れるみんなの道路にしてくれることを。

おたより

佐々木 督先生より次のようなおたよりがありました。「公民館報ありがとうございました。公民館報がたく拝見しました。昔の事を思い出してあります。ふるさと訪問に大熊の昔を「そうだったのか」と理解するとともに、訪問した人もされた人も、どんなに感激したことかと推察いたしました。また「息子へ」の文を拝読し、素朴な農村にもこんな事があるのかと、現今の風潮を残念に思うとともに、私の現在をいあわせに考えました。

「みんなの広場」も面白く拝見しました。編集のご苦労をお察します。(後略)

佐々木先生は昭和二十一年から二十三年まで大野小学校長をつとめられ、学究的な先生で、只今は千葉県松戸市で奥さん、娘さんと夫婦と一緒に幸福に暮しておられます。

編集後記

館報は常に町民の皆さんに愛され、しかもたくさんのご投稿をお寄せいただき、編集委員一同心から感謝申し上げます。今後もご意見、ご希望等がありましたらどしどしお寄せ下さい。なお原稿は二百六十字以内をお願いします。